

令和6年度第2回千葉市国民健康保険運営協議会
令和7年1月29日
千葉市健康保険課

議題 1

令和7年度国民健康保険料の改定（案） 及び当初予算（案）について

1 令和7年度国民健康保険料の改定（案） について

1 国民健康保険料の改定（案）について

国民健康保険法施行令等の改正に伴い、以下の内容を反映する。

1 賦課限度額の引上げ（保険料の上限を引上げ）

区分	医療分	支援分	介護分	合計
改定前	6 5 万円	2 4 万円	1 7 万円	1 0 6 万円
改定後	<u>6 6 万円</u>	<u>2 6 万円</u>	1 7 万円	<u>1 0 9 万円</u>

2 軽減判定所得の引上げ（低所得者への軽減措置を拡大）

区分	2割軽減	5割軽減	7割軽減
令和6年度	43万円＋54.5万円×世帯人数	43万円＋29.5万円×世帯人数	43万円
令和7年度	43万円＋ <u>56.0万円</u> ×世帯人数	43万円＋ <u>30.5万円</u> ×世帯人数	43万円
差	<u>+1.5万円</u>	<u>+1.0万円</u>	±0万円

1 国民健康保険料の改定（案）について

令和6年度の保険料率で保険料を計算した場合、歳入・歳出との差引きで**6.9億円の歳入不足**

【歳入】 (単位:億円)

区 分		R7
国民健康保険料		171.1
法定繰入金	基盤安定繰入金	42.2
	その他	15.6
法定外繰入金	ルール分	3.9
	収支不足分	6.9
基金繰入金		0.0
県支出金		543.3
その他(国庫支出金、諸収入)		2.1
計		785.1

【歳出】 (単位:億円)

区 分	R7
総務費	12.2
保険給付費	534.9
納付金	229.8
保健事業	5.8
その他(還付金等)	2.4
計	785.1

【基金保有額】 (単位:億円)

区 分	R8 (見込)	R7 (見込)	R6
国民健康保険 財政調整基金	22.6	24.4	26.4

●保険料改定（案）

保険料改定率：基金繰入れ なし **3.14%** ⇒ 基金を繰入れ **2.21%**

- (1) 近年の一人当たりの保険給付費の伸び率と同程度の改定を行う。(R5～7 平均：2.25%)
- (2) なお不足する**1.8億円**を財政調整基金から歳入予算に繰入れ、保険料改定幅を引下げるための補填財源として活用。

1 国民健康保険料の改定（案）について

●改定後保険料率

区分	医療分			支援分			介護分		
	R6	R7	増減	R6	R7	増減	R6	R7	増減
所得割	6.95%	7.14%	0.19P	2.90%	2.85%	-0.05P	2.36%	2.36%	0.00P
均等割	20,640円	21,840円	1,200円	8,400円	8,640円	240円	10,680円	10,680円	0円
平等割	24,840円	25,800円	960円	10,080円	10,320円	240円	8,040円	8,040円	0円

※ 後期高齢者医療制度を運営するための財源。

※ 介護保険制度を運営するための財源。40～64歳の加入者が対象。

●一人当たり平均保険料（年額）

区分	令和7年度		差(B)-(A)
	料金改定前(A)	料金改定後(B)	
医療・支援	103,575円	106,090円	2,515円
医療・支援・介護	113,928円	116,443円	2,515円

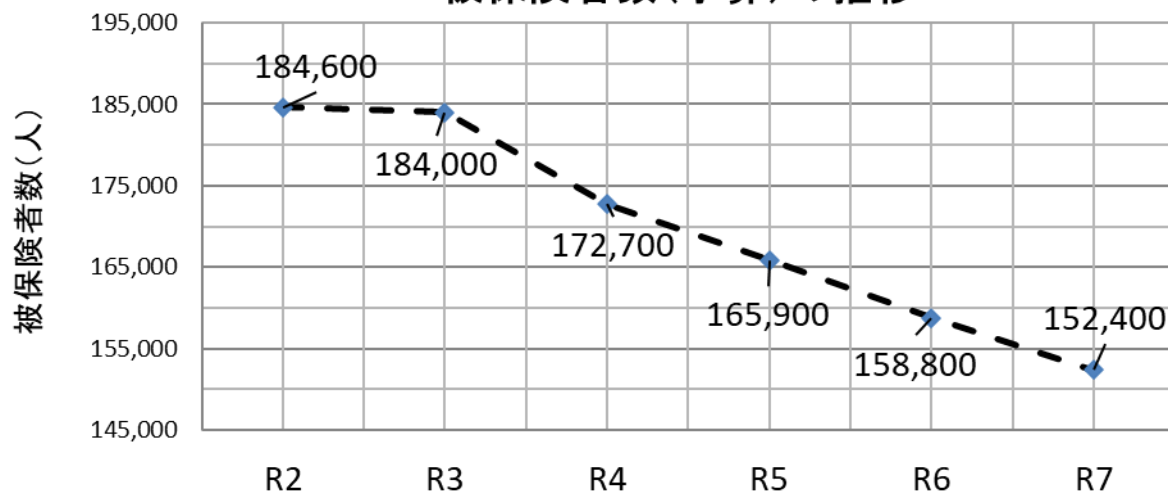
2 令和7年度当初予算（案）について

2 当初予算（案）について

●被保険者数：152,400人（前年度比 ▲6,400人 ▲4.0%）

- ⇒ ・後期高齢者へ移行する被保険者が増加することによる減少
・社会保険の適用拡大によって、国保から社保へ移行することによる減少

被保険者数（予算）の推移



●予算規模は785億1千万円で、令和6年度当初予算と比べ、25億4千万円(3.1%)減

- ⇒ 一人当たりの保険給付費及び納付金の金額は増加するも、被保険者数の減により予算規模は縮小

(単位:億円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算額	825.2	819.8	818.2	826.0	810.5	785.1
増減額(対前年度)	▲ 56.5	▲ 5.4	▲ 1.6	7.8	▲ 15.5	▲ 25.4
増減率(対前年度)	▲6.4%	▲0.7%	▲0.2%	1.0%	▲1.9%	▲3.1%

2 当初予算（案）について

【歳入】

（単位：億円）

区 分	R7(a)	R6(b)	増減(a)-(b)	増減率
国民健康保険料	174.7	172.3	<u>2.4</u>	<u>1.4%</u>
県支出金	543.3	565.4	<u>▲22.1</u>	<u>▲3.9%</u>
基金繰入金	1.8	5.0	<u>▲3.2</u>	<u>▲64.0%</u>
一般会計繰入金	63.2	65.2	<u>▲2.0</u>	<u>▲3.1%</u>
その他(国庫支出金、諸収入)	2.1	2.6	<u>▲0.5</u>	<u>▲19.2%</u>
計	785.1	810.5	<u>▲25.4</u>	<u>▲3.1%</u>

●主な増減

- ・保険料：174.7億円
（対前年度比 +2.4億円 +1.4%）
⇒ 一人当たり保険料116,443円
（+2,515円）

【徴収率目標】（単位：%）

	R7	R6	差
現年分	94.1	94.0	0.1
滞納繰越分	25.0	24.6	0.4
合計	83.5	83.6	-0.1

- ・県支出金：543.3億円
（対前年度比 -22.1億円 -3.9%）
⇒ 保険給付費の減に伴う県支出金の
交付減（次ページにて説明）
- ・基金繰入金：1.8億円
（対前年度比 -3.2億円 -64.0%）
⇒ 歳入不足額の減 8 億円→6.9億円

2 当初予算（案）について

【歳出】

（単位：億円）

区 分	R7(a)	R6(b)	増減(a)-(b)	増減率
総 務 費	12.2	12.8	▲ 0.6	▲4.7%
保険給付費	534.9	555.6	▲ 20.7	▲3.7%
納 付 金	229.8	232.8	▲ 3.0	▲1.3%
保 健 事 業	5.8	6.5	▲ 0.7	▲10.8%
その他(還付金等)	2.4	2.8	▲ 0.4	▲14.3%
計	785.1	810.5	▲ 25.4	▲3.1%

●主な増減

- ・ **保険給付費：534.9億円**
(前年度比 -20.7億円 -3.7%)

一人当たりの保険給付費は増加したものの被保険者数の減により総額は減少

- ・ **納付金：229.8億円**
(前年度比 -3.0億円 -1.3%)

一人当たり納付金：150,805円
(前年度比 +4,211円 +2.9%)

※保険給付費

医療費に対する保険者負担分。給付費に対しては県支出金が交付される。
(療養給付費、療養費、高額療養費、出産育児一時金、傷病手当金 等)

※納付金

県内の保険給付費等の費用を賄うために、市から県に納めるもの